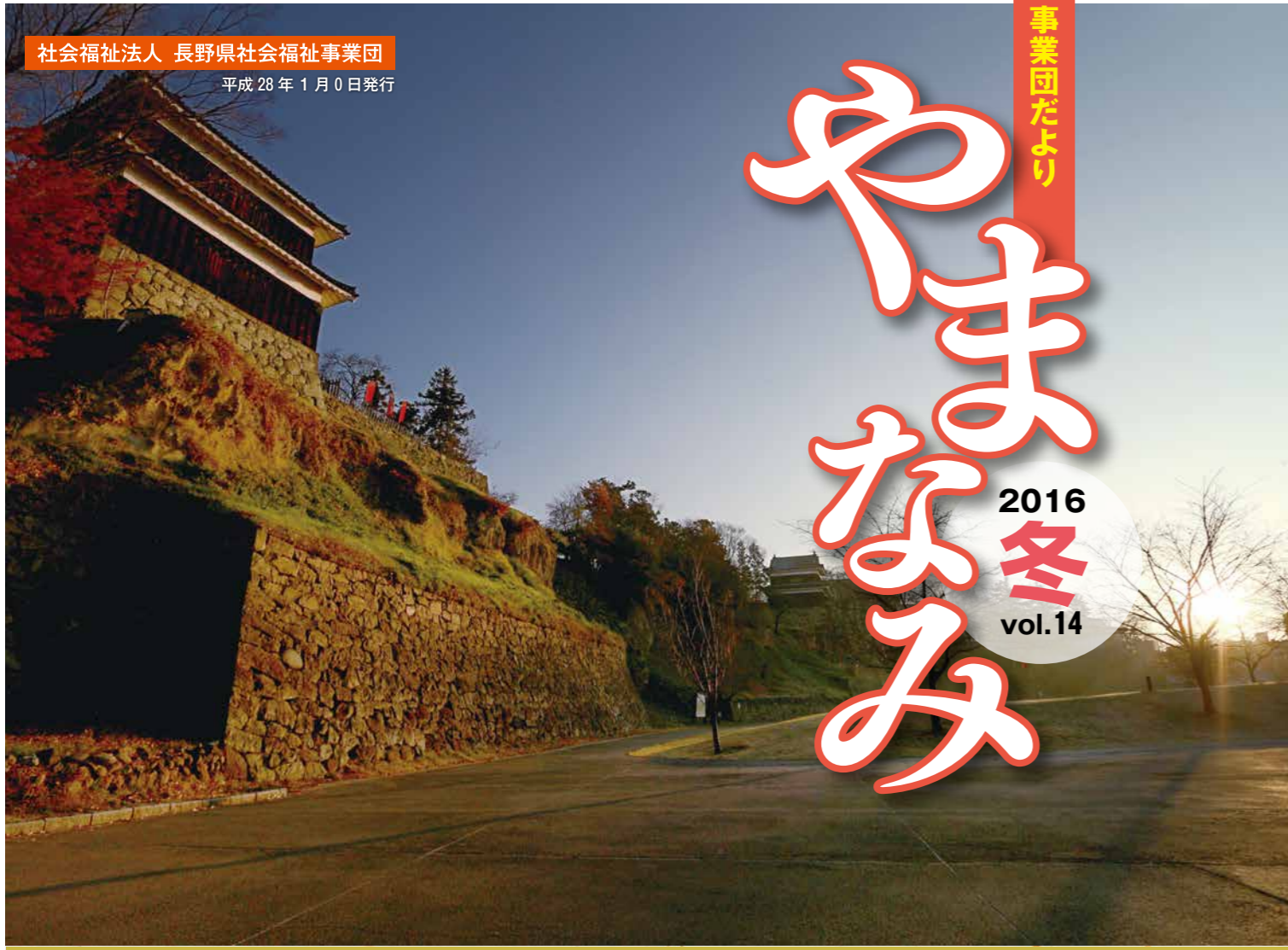


やまなみ

2016冬 vol.14

事業団だより

事業団だより やまなみ 2016年 冬 Vol.14 発行所：社会福祉法人 長野県社会福祉事業団 発行日：平成28年1月0日 印刷：第一企画株式会社



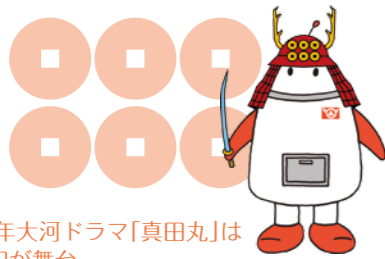
写真提供：上田市 上田城址公園に昇る朝日

長野県社会福祉事業団 設立50周年記念特集

長野県社会福祉事業団 設立50周年記念式典・祝賀会開催!!

- 第Ⅰ部 記念式典・座談会
- 第Ⅱ部 みんなのステージ
- 第Ⅲ部 祝賀会

[資料]
長野県社会福祉事業団50年の足跡
人事異動／トピックス／プレゼント



平成28年大河ドラマ「真田丸」は
信州上田が舞台
(事業団 Mascot キャラクター
「ワトワくん」赤備えVer.)

50th Anniversary 社会福祉法人 長野県社会福祉事業団

謹賀新年



新たなスタート
長野県社会福祉事業団 理事長 和田 恭良

新年明けましておめでとうございます。
今年は申年。「申」という字は、果実が成熟して「のびのび」としていく様を表しているそうです。当事業団も、50年にわたるこれまでの経営努力が実を結ぶとともに、更なる発展に向けてスタートを切るにふさわしい年といえます。

私たちをとりまく社会では、長きにわたって続いたデフレのもと、人口減少もあいまって縮み志向の考え方が大きな影響をあたえています。世界経済の減速による景気の低迷などの懸念もあります。でも、いつまでも縮まっています。スタートは切れません。

過去にとらわれない大きな視野を持つと同時に、地に足をつけた綿密な計画をたて、従業員一人ひとりが、一段の高みを目指していきましょう。

もちろん、障がい者の皆さんが安心して毎日を過ごせるよう、ニーズを的確に把握し、事業団の役割や責任を明確にして、地域の声や信頼に積極的に応えていく。併せて、地域の社会的資源や人的資源を有効に活かし、利用者や職員の皆さんが伸び伸びと活躍できる事業団を目指すことも、しっかりと取り組んでいきたいと思えます。関係の皆様の一層のご指導とご協力をよろしくお願い致します。

トピックス

秋季収穫祭にワトワくん登場 (西駒郷)



ワトワくんとの記念撮影(ばれっと)

西駒郷駒ヶ根日中支援課では畑づくり日々の活動に取り入れています。収穫した野菜は年2回開催の収穫祭でカレーや豚汁として味わいます。今回の収穫祭(日27・日25開催)には、調理ボランティアの皆さんの他にワトワくんも登場！イベントを盛り上げてくれました(180人参加)。お腹のポケットから野菜を取り出すワトワくんにも利用者さんもボランティアの皆さんも興味津々。ワトワくんとの写真撮影もいろいろ、とても楽しい収穫祭となりました。

「50周年りんご」でももてなし 収穫イベント開催 (辰野町地域活動支援センター)



りんごパイを食べながらステージ発表を鑑賞

辰野町地域活動支援センターでは一昨年来り、町内のりんご農園のりんごオーナーとなり、摘果作業体験や収穫、調理実習等の活動をしています。また、地域の方と一緒に「収穫イベント」を開催しており、3回目となる今回(日27・12・2開催)は「50周年のオリジナルりんご」を作って皆さんに振る舞いました。



授賞式の様子

長野県障がい者文化芸術祭 作品展(絵画部門)で優秀賞受賞!! (西駒郷)
昨年9月に開催された第18回長野県障がい者文化芸術祭「作品展」の絵画部門で、西駒郷利用者、竹内一貴さんの作品が優秀賞(社会福祉法人長野県社会福祉協議会長賞)に輝きました。
なお今回の受賞作品を含む優秀作品展を県内各地で巡回展示します。詳細は長野県障がい者福祉センターサンアップルのホームページからご覧ください。



お母さんと記念撮影(巡回展にて)



授賞式の様子

プレゼント



「伊那ゆいま〜る」
所長 有賀美希恵
からのメッセージ



◆事業団設立50周年記念品 「手描きポストカード × 手作りフォトフレーム」

長野県社会福祉事業団設立50周年を記念し、お世話になっている皆様への感謝の気持ちを込め、当事業団事業所の利用者に記念品の作成を協力していただきました。ポストカードは全て利用者の手描きで、同じものは一つもありません。また、フォトフレームは「伊那ゆいま〜る」の利用者が、ひとつひとつ丁寧にやすりをかけ、オイルステインを塗って仕上げました。身の回りに飾っていただければ幸いです。

事業団だより「やまなみ」の感想や今後掲載してほしい内容等について、①郵便番号、②住所、③氏名、④電話番号を記載のうえメールまたは郵便はがきにて法人本部(事務局)までお寄せ下さい。
3月末までにお寄せいただいた方の中から抽選で5名の方にプレゼントいたします。(手描きポストカードのデザインは選べません。)
なお、当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。(プレゼントの発送は4月頃を予定しています。)

今回の「やまなみ」は事業団設立50周年記念特集ですが、この50年で福祉業界も大きく様変わりし、制度的な変化だけでなく、新たな課題として「利用者の重度化・高齢化」が取り沙汰されています。しかしながら、30年前(昭和60年)に発行した事業団設立20周年記念誌にも利用者の重度化・高齢化を問題視する記述が…。10年先、20年先の福祉業界、そして事業団では、いったいどのような議論がされているのでしょうか。未来に向けて常に前進し続けたいものです。(中村)

掲載記事の内容等についてのお問い合わせ及びプレゼントの応募はこちらまでお願いします。

編集後記

人事異動

事業所間異動等
(平成28年1月1日付)
歩楽里
専門幹/佐藤ゆり子(兼)
長野市地域活動支援センターこぶし
専門幹/佐藤ゆり子(兼)

退職
(平成27年12月4日付)
八雲日和
主任支援員/伊東 慎一

(平成27年12月31日付)
水内荘
支援員/東 晋平
歩楽里
支援員/東 晋平(兼)
長野市地域活動支援センターこぶし
支援員/東 晋平(兼)
(兼)他職との兼務職員



社会福祉法人
長野県社会福祉事業団

〒380-0928 長野市若里七丁目1番7号 長野県社会福祉総合センター5F
tel: 026-228-0337 fax: 026-228-0310
URL: http://park19.wakwak.com/~nagano-shafuku-j/

長野県社会福祉事業団設立50周年記念式典・祝賀会開催!!

長野県社会福祉事業団では平成27年度に設立50周年を迎えるにあたり、設立50周年記念事業実行委員会（委員長・伊藤常務理事）を立ち上げ、記念式典・祝賀会の開催に向けた検討を重ねてきました。その結果、「手づくり感」と「当事者参加」をコンセプトに、関係者全員が参加できる三部構成のイベントを企画しました。



50周年記念式典・祝賀会テーマ
 ・地域を支えられた事業団50年の歴史に感謝するとともに、未来の50年に向けた所信表明をする。
 ・当事者、職員がスタッフという立場で感謝の意を表すと同時に、さりと当事者の出番を盛り込む。

今回の「やまなみ」は設立50周年記念特集として、平成27年11月13日（金）に開催した「長野県社会福祉事業団設立50周年記念式典・祝賀会」の様子を中心に紹介します。

くりに向け、御尽力を賜りますようお願い申し上げます。ご紹介します。



社会福祉法人 全国社会福祉事業団協議会 理事長 **大窪 正行** 様

現在、国におきましては、社会福祉法人制度の改革に向けた取組が進められており、また、介護報酬等の引き下げや福祉・介護人材の確保の困難性など社会福祉事業の経営環境は大変厳しい状況にあります。

こうした中、私ども社会福祉事業団は、福祉のバイオニアとしての経験や豊富な人材・ネットワークを活用しながら、「地域包括ケアシステムの構築」や「地域貢献活動の更なる推進」など、時代の変化に対応した取組を積極的に進めていくことが重要であり、当協議会といえども、全国百十八の会員事業団が、それぞれの地域において、しっかりと役割を發揮していきけるよう、効果的な支援に努めてまいります。



表彰
 事業団設立50周年を記念し、当事業団へ多大なる功績を残された個人や団体の方々に理事長から感謝状ならびに記念品を贈らせていただきました。

第I部 記念式典

主催者あいさつ (抜粋)



理事長 **和田 恭良** 様

本日、ここに多数の方々のご臨席を賜り、設立50周年を盛大にお祝いできますことを大変嬉しく、心から感謝申し上げますとともに、長野県社会福祉事業団を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。

私も福祉事業者を取り巻く状況は一時として立ち止まってくれません。私たちは、常に社会の変化を感じとり、人々が必要とするものを適時適切に提供することが求められています。とりわけ、近年、社会福祉法人への「地域公益活動」が義務づけられようとしておりますが、こうした地域を重視した流れは、施設中心から地域生活移行に率先して取り組ん

できた当事業団の歩みと軌を一にしております。

これまでの50年の歩みに大きな自信と自信を持ち、これから進むべき道をしっかりと見定め、障がい者はもとより広く県民各位のニーズにより一層、応えることができるよう、役員、職員、精進を重ね、一丸となって、努力をしていく所存でございます。

来賓祝辞 (抜粋)



長野県副知事 **中島 恵理** 様
 (長野県知事代理)

事業団は、長野県における社会福祉の向上に多大なる貢献を積み重ねてこられました。特に、ノーマライゼーションが強く叫ばれるなか、全国に先駆けて、平成十五年から西駒郷の利用者の地域生活移行が進められ、これまでに二百九十名を超える方が施設を退所して、地域のグループホームなどで生活を送られるようになりましたが、その間、御本人や家族

への支援、地域の関係機関との調整などにご尽力いただきました。今後引き続き、県の施策をご理解いただき、格別なる御協力を賜りますようお願いいたします。



長野県議会議長 **西沢 正隆** 様

事業団では、経営理念の一つに「信州自然的暮らしの創造」を掲げられ、利用者が地域住民と関係を結び、信州の自然や風土を取り入れる中で自己実現できる「暮らし」づくりを、積極的に支援されております。

これは、今まさに、本県を含め全国で進められております、「地方創生」の動きと軌を一にするものであり、地域の絆を維持し、住民が安心して暮らすことのできる社会づくりを進める上で、欠くことのできない視点であります。

事業団におかれましては、これからも地域福祉の重要な担い手として、障害のある人が尊厳と誇りを保持しつつ、自立した生活を営むことができる地域社会づく

【表彰者一覧(順不同)】

団体名、会社名等	役職名	氏名
泉平組	組長	堀越 茂様
タカノ株式会社	代表取締役社長	鷹野 準様
千代田株式会社	代表取締役	清水 能忠様
日本発条株式会社伊那工場	工場長	高村 典利様
N T N 株式会社長野製作所	所長	堀本 英文様
株式会社北沢電機製作所	代表取締役	北澤 昇次様
有限会社松岡産業	代表取締役	松岡 宅吉様
株式会社駒ヶ根電化	代表取締役会長	山下 善廣様
〃	代表取締役社長	山下 政隆様
株式会社堀口紙器製作所	代表取締役	宇佐美 直彦様
長野県立 こころの医療センター	院長	樋掛 忠彦様
駒ヶ根 竜東メンタルクリニック	院長	下島 秀一様
伊南行政組合 昭和伊南総合病院	院長	村岡 紳介様
斉藤診療所	院長	斉藤 卓雄様
中津理容所		中津 源一様
駒ヶ根市下平区	区長	小松 由喜一様
宮田村大久保区	区長	伊藤 千春様
長野県社会福祉事業団	元常務理事	宮之本 一宏様
〃	元理事長	佐藤 進様
〃	前理事長	辰野 恒雄様
〃	元常務理事	堀米 信一様

記念事業紹介

当事業団では平成20年から法人の認知度アップと法人全体の一体感の醸成を図るため、マスコットキャラクターの制作を検討していましたが、今回の50周年記念に併せて制作するに至りました。

基本デザインは工業デザイナーとして数多くの実績を持つ上田市在住のデザイナー、オヤマタツヤ氏に依頼し、その上で、名称・デザイン・活用方法等のアイデアを全国公募しました。

その結果、全174件の応募をいただき、名称は事業団の経営方針「和と輪を生み・持続していく集団形成」に合致する「ワトワくん」に。デザイナーも頭をなやまして。



背面には最新型ホワイトボードを装備

記念式典でワトワくんお披露目

階段は苦手...

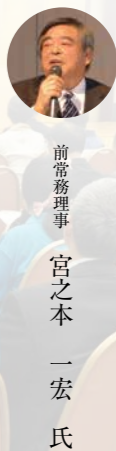
【プロフィール】

- ・50年後の未来からやってきたゆるキャラ型ロボット
- ・外見はシンプルだが中身は超精密。県内19事業所の情報をWifi接続で常にキャッチし、理事長に経営アドバイスをしている。
- ・お腹のポケットは事業所と4次元で繋がっており、福祉施設で作られたどら焼きやうどん等をイベントで配ることができる。
- ・さらに50年後の長野県社会福祉事業団100周年記念式典の際に中から「何か」が出てくるらしい。



【平成27年度 長野県地域元気づくり支援金活用事業】

「未来への期待を込めて、長野県社会福祉事業団50年の足跡をたどります」
進行役



前常務理事 宮之本 一宏 氏

(S53年度～H24年度までの35年間、事業団に在籍。西駒郷を皮切りに水内荘、サンアップル、最後は法人本部に勤務。現在はみのちグループホームセンター専門幹(再雇用))

OB職員として一言言わせていただきますと、事業団は開設時から「障害福祉サービス」を主とする法人でした。

事業団に35年付き合わせていただきましたが、場所的にも(事業所が)長野県全域に散りばめられ、規模的にも大きくなり、いよいよ舞台は整ったと感じております。後はいかに上手に踊るか、遊ぶか、いわゆる「魂入れ」なのかなと思います。

事業団には、利用者に寄り添った質の高いサービス提供がどのようにできるのか、利用者のより良い暮らしにはどのような方策が有効であるかを社会に提言するとか、そんなことを続けていただくと、期待しています。それを実現するには、今日お集まりのOB職員の皆さん、関係者の皆さん、そして何よりも現役の職員の団結力が明日の長野県の障がい者福祉、そして事業団の前進・



歩楽里支援員 今井 志帆 氏

(水内荘に4年、去年から歩楽里の相談支援専門員として勤務し、現在事業団入職6年目。少しずつ前を向いて歩きながら頑張っている最中。)

相談支援専門員になる前は入所施設の支援員の経験しかなく、そういった視野で支援していたが、相談支援専門員になって視野が広く持てるようになって、利用者のニーズを幅広くとらえることができるようになったと思います。

今日、スライドで事業団の50年の歴史を振り返らせていただいて、事業団の職員になった重みを感じています。

先輩たちの歴史を大事にしながらも、自分としては新たな道を開くことが利用者にとって豊かな生活に繋がっていくと思うので、職員同士協力しながらがんばっていききたいと思います。

第Ⅱ部 みんなのステージ

「当事者参加」を合言葉に事業団事業所を利用する皆様に、日頃の活動や事業所の紹介を「みんなのステージ」として、5ブロックに分かれて発表していただきました。

発展に繋がると確信しております。
対談者



西駒郷元職員 竹村 憲博 氏

(S46年度～H14年度までの32年間、事業団に在籍。うち西駒郷に29年、水内荘に3年勤務)

昭和52年頃の話ですが、西駒郷生業部(現在の宮田支援事業部)の定員250名は、ほぼ満杯の状態、近隣の企業等で所外作業をしている利用者も多く、そのまま就職に繋がったといった成果も沢山ありました。

事業団の運営の流れは、当時と変わってきているので、今後どのようになるのか分かりませんが、現在グループホームに大勢の方が出ておられます。老婆心ながら私も高齢者の域になりますので、高齢化によって地域での生活が困難になった時は大変だろうなと思います。

その点も今から考えていただいて、利用者の老後を迷うことなく、より豊かな老後が送れるようご配慮をいただければと思います。



西駒郷現職員 今村 信康 氏

(S48年度～H23年度までの39年間、事業団に在籍。全期間西駒郷に勤務。定年退職後、再雇用職員として、西駒郷地域移行推進課にてアフターフォロー事業

みんなのステージ



上伊那南部ブロック
ご自身の地域生活の様子を紹介しました



西駒郷ダンスクラブ「33サタデー」のステージ



ほっとワークス・みのわの「しめ縄」を紹介



松本ひよこの利用者が全3事業所を紹介



「水内荘を利用して50周年」とのコメントも



オリジナルDVDでサンアップル事業を紹介



第Ⅲ部 祝賀会

(グループホームに転居された方への訪問)を担当
平成15年頃、グループホームの生活を支援して一番ビックリしたのが、利用者が食事の時に炊飯器の開け方が分からなかったり、電気こたつのスイッチの入れ方が分からなかったりしたこと。つまり、西駒郷では力のある人が全てそういうことをやっていて、そうでない人は経験すらできなかったということです。それから約10年経ちますが、地域の方にもご協力いただき、買い物に循環バスを使えるようになったりと、色々できることが増えてきたのを実感できて嬉しかったです。
今後、グループホームの利用者もお年を取られ、施設の利用者が障がいが増えて、これから利用される方は障がいが多様化してきます。こういった中で職員の連携をはかって、先輩から後輩に利用者の支援が繋がるようにして、利用者中心で安心・安全で豊かな生活が送れる支援をして頂ければと思います。
「ホームでの暮らしについて」
今伊那の「西みのわホーム」の畑で



ほっとグループホーム伊北利用者 小椋 正文 氏

(S60年に西駒郷入所。H17年に地域生活移行し、グループホームでの生活をスタート。日中は「ほっとワークス・みのわ」に通所し、畑と内職を担当)

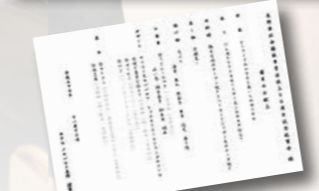
野菜を作ったりしています。旅行が好きです。
「西駒郷との違いは？」
昔は「さつき寮」にいたね。西駒郷は狭いような部屋で4人で暮らしていた。農畜産科でにわとりもやってたね。
今のグループホームの方がいいです。
「事業団への期待」
今度、71歳になります。生活はグループホームをもう少し良くしてほしい。道路とか屋根とか。



みのちグループホームセンター利用者 米山 美恵子 氏

(S45年に水内荘入所。H12年に地域生活移行し、グループホームでの生活をスタート。日中は「八雲日和」に通所し、うどん作り等を担当)

「ホームでの暮らしについて」
中尾の家で暮らしています。グループホームで楽しいです。世話人さんの言うことを聞いて、自分でやっているから。
「最近ハマっていることは？」
サッカー！長野パルセイロの試合に行つて、興奮して応援しています。とても楽しいです。
「事業団への期待」
これからもがんばりたいと思います。もっと給料を上げて欲しいです。3万円では少ないので。



祝賀会のメニューはメルパルク長野のご厚意により、事業団事業所の自主製産品をふんだんに取り入れたオリジナルメニュー。
おいしいお料理、マスコットキャラクター「ワトワくん」の登場、各ブロックからのプレゼントくじ引き等々盛り上がり、昔話にも花が咲きました。

